

バレエ界の至宝 マニユエル・ルグリ

—世界最高峰のダンサーと 奏でるルグリの最終章—

パリ・オペラ座

幻の名演

ルグリ&ゲラン『アルルの女』が蘇る!!



LEGRIS GALA

un destin... "La Danse"

ルグリ・ガラ

～運命のバレエダンサー～

2017 8.19 (土) 14:00開演 フェスティバルホール

S席¥14,000 A席¥11,000 B席¥8,000 C席 完売 BOX席 完売 バルコニーBOX(2席セット) ¥28,000 [全席指定・税込]
※バルコニーBOX(2席セット)はフェスティバルホール チケットセンター(電話・窓口)のみの取り扱い。

ご予約・お問合せ フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (営業時間10:00~18:00)
フェスティバルホール オンラインチケット <http://www.festivalhall.jp> (要事前登録)

全演目決定!!
チケット
好評発売中



マリアネラ・ヌニェス
ワディム・ムンタギロフ
英国ロイヤルバレエ団

オルガ・スミルワ
セミヨン・チュージン
ロシア国立バレエ

主催:関西テレビ放送
フェスティバルホール
協力:ダンスウエスト
後援:オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム
制作:フジテレビジョン
企画協力:ベルチェ・アソシエイツ
オフィシャルエアライン:ルフトハンザ ドイツ航空

ロイヤル、ポリショイ、ウィーン...

ルグリが今最も愛する才能たちが集結する百花繚乱のガラ公演



デニス・チュエヴィチコ
ウィーン国立バレエ団 プリンシパル

情熱的で洗練とした個性は若手の頃から目を引いたが、ルグリの指導のもとで近年飛躍を遂げ、正統派の古典から現代作品まで確実に踊りこなすダンサーへと成長した。今やプリンシパルとしてバレエ団を牽引する存在ともなっている。



オルガ・スミルノワ
ポリショイ・バレエ プリンシパル

昨年プリンシパル昇格を果たしたポリショイ新時代の女王。長い手脚とミステリアスな美貌に、圧倒的なテクニックとドラマティックな表現力を備える。王道の古典から現代作品まで幅広くこなし、マイヨール世界的振付家が彼女のために作品を創っている。



マヌエル・ルグリ
ウィーン国立バレエ団 芸術監督
元パリ・オペラ座バレエ団 エトワール

パリ・オペラ座の一時代を築いた大エトワール。2009年の引退後はウィーン国立バレエ団を率い、バレエへの飽くなき情熱と類稀な芸術性により同団の変革を成し遂げてきた。男性ダンサーの見本と称されてきた無二の才能は健在、今なお観客を魅了してやまない。ダンサーとしての最終章のひとつと本人が位置付けるこの公演でも、今なお進化するルグリに会えるはずだ。



イザベル・ゲラン
元パリ・オペラ座バレエ団 エトワール

ヌレエフ世代を代表するエトワールとしてルグリと共にオペラ座の黄金時代を築いた名花ゲランが、ルグリの勧めにより12年ぶりに日本の舞台へと返り咲いたのは2015年のこと。本公演では、深い感動を呼んだあの奇跡のパートナーシップが再び!

マリアネラ・ヌニェス
英国ロイヤル・バレエ団 プリンシパル

わずか20歳にして英国ロイヤル・バレエ団のプリンシパルの座を得てから15年、今や同団を牽引するバレリーナである。舞台を華やかに照らす陽のオーラ、持ち前の強靱なテクニックに加え、表現においても近年ますます多層的な深まりをみせ、成熟を極めている。



ニーナ・ポラコワ
ウィーン国立バレエ団 プリンシパル

ルグリがウィーン国立バレエ団芸術監督に就任した翌2011年にプリンシパルへ昇格。マン・オ・ネーギンなどドラマティックな役柄で強い存在感を示す一方、フォーサイズ、ロビンズ、サーフ等、現代振付家の作品においても高い評価を誇る。



セムジョン・チュージン
ポリショイ・バレエ プリンシパル

モスクワ音楽劇場から移籍して5年、今や名実共にポリショイを代表するトップダンサーへと上り詰めた。技群のスタイルと美しい脚のラインから生まれる軽やかで切れのいい踊り、優雅さと気品...「ロシアが誇る最高のダンスール・ノーブル」として、ルグリの評価も絶大だ。

ワディム・ムンタギロフ
英国ロイヤル・バレエ団 プリンシパル

ルグリが「今最も素晴らしいダンスール・ノーブル」と評する若きスター。イングリッシュ・ナショナル・バレエで活躍後、2014年に英国ロイヤル・バレエ団へプリンシパルとして移籍。生まれながらの気品と確かなテクニックを兼ね備えた彼はまさに理想のプリンス。



ニーナ・トトリ
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

2016年よりソリスト。少女のような可憐さと清潔なテクニック、ロイヤル・バレエ・スクール仕込みのナチュラルな演技力が魅力。最近では『ラ・フィユル・マル・ガルデ』のリーズ役に抜擢された。

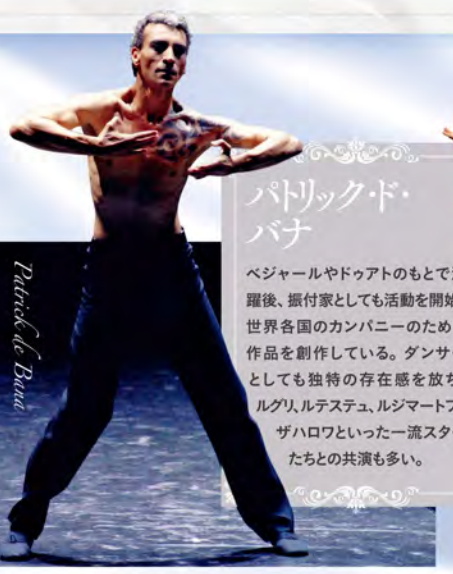


ダザ・ダト
ウィーン国立バレエ団 プリンシパル

ルグリに注目され、昨年ついにプリンシパルに昇格。切れのいいテクニックを武器とし、ルグリ版『海賊』のビルバントや『ライモンダ』のアデラマンなどキャラクター性の強い役柄において定評があるだけでなく、現代作品、古典作品ともに主演を務める。CMへの出演などモデルとしても活躍。

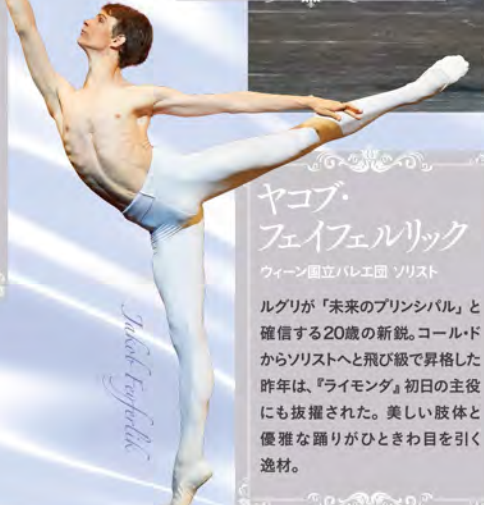


エレナ・マルティン
スペイン国立バレエ団、ラファエル・アギラル・スペイン舞踊団のプリンシパルを務めるなど、スペイン舞踊界の第一線で活躍。ジャンルを超えた交流も多く、ルグリのグループ公演にも招かれて、来日している。



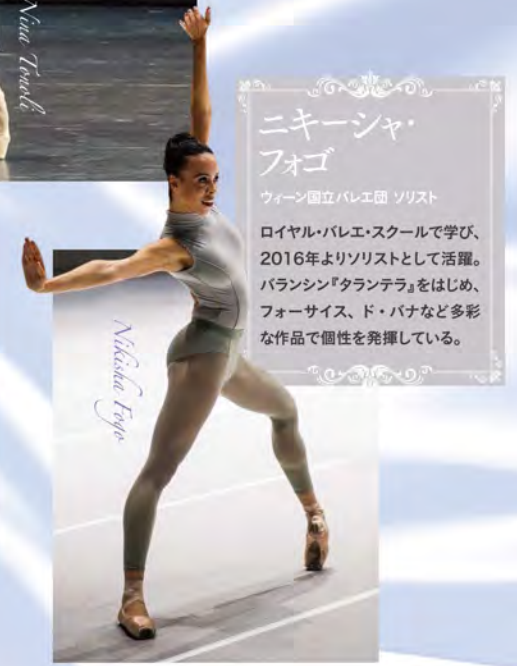
パトリックド・バナ

ベジャールやドゥオットのもとで活躍後、振付家としても活動を開始。世界各国のカンパニーのために作品を創作している。ダンサーとしても独特の存在感を放ち、ルグリ、ルテステュ、ルジマートフ、ザハロワといった一流スターたちとの共演も多い。



ヤコブ・フェイフェリック
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

ルグリが「未来のプリンシパル」と確信する20歳の新鋭。コール・ドからソリストへと飛び級で昇格した昨年は、『ライモンダ』初日の主役にも抜擢された。美しい肢体と優雅な踊りがひととき目を引く逸材。



ニキーシャ・フォゴ
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

ロイヤル・バレエ・スクールで学び、2016年よりソリストとして活躍。バランシンの『タランテラ』をはじめ、フォーサイズ、ド・バナなど多彩な作品で個性を発揮している。



ナターシャ・マイヤー
ウィーン国立バレエ団 ソリスト

柔軟な身体を生かした華やかなテクニックを持ち味とし、ルグリ版『海賊』のグルナラを踊り高い評価を得た。2016年よりソリスト。ヤコブと共に、ウィーン国立バレエ学校出身として同バレエ団の次世代を担う存在として期待が高まる。

ジェームズ・ステファン
ウィーン国立バレエ団 デミ・ソリスト

ロイヤル・バレエ・スクールで学んだのち、ウィーン国立バレエ団に入団。まだデミ・ソリストの階級ながら今回ルグリが唯一白羽の矢を立てた、将来を期待されるダンサー。



エレナ・マルティン
スペイン国立バレエ団、ラファエル・アギラル・スペイン舞踊団のプリンシパルを務めるなど、スペイン舞踊界の第一線で活躍。ジャンルを超えた交流も多く、ルグリのグループ公演にも招かれて、来日している。

並ぶ者なき現代最高の至宝マヌエル・ルグリ。「私が舞台に立つのは最後となるかもしれない」と語り、自らのバレエ人生における一つの集大成とも位置付ける本公演では、ダンサーとしてはもちろん、芸術監督として、そして振付家として、卓越した芸術性を有する彼ならではの審美眼により選りすぐられたスターダンサーたちが国境を超えて集結。バレエの殿堂——英国ロイヤル・バレエ団、ポリショイ・バレエ、そしてルグリのもと近年劇的な進化を遂げているウィーン国立バレエ団が誇る百花繚乱の才能が、バレエ芸術のあらゆる魅力を堪能させる至極のガラを、どうぞお見逃しなく!

LEGRIS GALA

un destin... "La Danse"

ルグリ・ガラ

～運命のバレエダンサー～

「ダンスこそ我が運命」—— 愛する日本で魅せる、ルグリの輝けるバレエ人生!

ルグリ自身が3演目踊るという渾身のプログラムには、彼の輝かしい軌跡を彩る作品が揃う。パリ・オペラ座黄金期を共に築いたグランと劇場を興奮で包んだプティの傑作『アルルの女』、2人の円熟の極みを堪能すべくバナが手掛けた『フェアウェル・ワルツ』、新進気鋭振付家ホレツナと創る世界初演ソロ作品と、今も尚挑戦し続けるルグリを味わえる。エトワール任命を受けた『ライモンダ』、ギエムとの名演『グラン・パ・クラシック』を始め、“伝説”というにふさわしい名シーンの数々を再現するのは、英国ロイヤル・バレエ団、ボリショイ・バレエ、ウィーン国立バレエ団のルグリの志を受け継ぐ精鋭達。自身初の全幕振付作品『海賊』の本邦初披露にもご期待。



マヌエル・ルグリ
ウィーン国立バレエ団 芸術監督
元パリ・オペラ座バレエ団 エトワール



イザベル・グラン
元パリ・オペラ座バレエ団
エトワール



マリアネラ・ヌエス
英国ロイヤル・バレエ団
プリンシパル



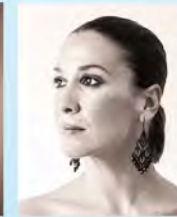
ワディム・ムンタギロフ
英国ロイヤル・バレエ団
プリンシパル



オルガ・スミルノワ
ボリショイ・バレエ
プリンシパル



セミヨン・チュージン
ボリショイ・バレエ
プリンシパル



エレナ・マルティン



パトリック・ド・バナ



ニーナ・ボラコフ
ウィーン国立バレエ団
プリンシパル



デニス・チェリェヴィチコ
ウィーン国立バレエ団
プリンシパル



ダヴィデ・ダト
ウィーン国立バレエ団
プリンシパル



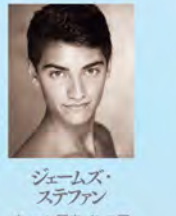
ナターシャ・マイヤー
ウィーン国立バレエ団
ソリスト



ニーナ・トノリ
ウィーン国立バレエ団
ソリスト



ニキーシャ・フォゴ
ウィーン国立バレエ団
ソリスト



ヤコブ・フェイスルリク
ウィーン国立バレエ団
ソリスト

ジェームズ・ステファン
ウィーン国立バレエ団
デミ・ソリスト

ピアノ: 滝澤志野

PROGRAM A

★日本初演 ★★世界初演

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>1 『ライモンダ』第1幕よりアダージェ
音楽: A. グラズノフ 振付: R. ヌレエフ
出演: ニーナ・ボラコフ
ヤコブ・フェイスルリク</p> <p>2 『海賊』よりオダリスク★
音楽: A. アダン 振付: M. ルグリ
出演: ニキーシャ・フォゴ
ナターシャ・マイヤー、ニーナ・トノリ</p> <p>3 『I have been kissed by you...』★
音楽: M. リヒター 振付: H. マルティン、P. d. バナ
出演: エレナ・マルティン、パトリック・ド・バナ</p> <p>『..Inside the Labyrinth of Solitude』★
音楽: T. ヴィターリ 振付: P. d. バナ
出演: ダヴィデ・ダト</p> <p>4 『海賊』第2幕よりグラン・パド・ドゥ
音楽: R. ドリゴ 振付: M. プティバ(M. ルグリ改訂)
出演: ニーナ・ボラコフ
デニス・チェリェヴィチコ</p> | <p>5 『マニフィカト』より
音楽: J.S. バッハ(アニュステイ) 振付: J. ノイマイヤー
(初演: シルヴィ・ギエム、マヌエル・ルグリ)
出演: ニーナ・トノリ
ヤコブ・フェイスルリク</p> <p>6 『じゃじゃ馬馴らし』★
音楽: D. ショスタコーヴィチ 振付: J.C. マイヨー
出演: オルガ・スミルノワ
セミヨン・チュージン</p> <p>7 『チャイコフスキー・パド・ドゥ』
音楽: P.I. チャイコフスキー 振付: G. バランシン
出演: マリアネラ・ヌエス
ワディム・ムンタギロフ</p> <p>8 『アルルの女』より
音楽: G. ビゼー 振付: R. プティ
出演: イザベル・グラン
マヌエル・ルグリ</p> | <p>9 『ローレンシア』よりパド・シス
音楽: A. クレイン 振付: V. チャプキアーニ
出演: ニキーシャ・フォゴ
デニス・チェリェヴィチコ
ニーナ・トノリ、ナターシャ・マイヤー
ヤコブ・フェイスルリク
ジェームズ・ステファン</p> <p>10 マヌエル・ルグリ ソロ★★
音楽: J.S. バッハ/F. プローニ 振付: N. ホレツナ
出演: マヌエル・ルグリ
ピアノ: 滝澤志野</p> <p>11 『Medea』★
音楽: M. リヒター 振付: P. d. バナ
出演: エレナ・マルティン
パトリック・ド・バナ</p> <p>12 『ラ・フィユ・マルガルデ』
音楽: F. エロルド 振付: F. アシュトン
出演: ナターシャ・マイヤー
ダヴィデ・ダト</p> | <p>13 『Murmuration』より★
音楽: E. ボツツ 振付: E. リアン
出演: ニーナ・ボラコフ
ヤコブ・フェイスルリク
ジェームズ・ステファン</p> <p>14 『海賊』第2幕よりアダージェ★
音楽: L. ドリーブ 振付: M. ルグリ
出演: マリアネラ・ヌエス
ワディム・ムンタギロフ</p> <p>15 『グラン・パ・クラシック』
音楽: F. オーベール 振付: V. クソフスキー
出演: オルガ・スミルノワ
セミヨン・チュージン</p> <p>16 『フェアウェル・ワルツ』
音楽: F. ショパン / V. マルティノフ
振付: P. d. バナ
出演: イザベル・グラン
マヌエル・ルグリ</p> |
|---|---|--|--|

※2017年4月21日現在のものです。出演者・演目は、やむを得ない事情により変更となる場合がございます。 ※最終的な出演者・演目は当日発表とさせていただきます。 ※ピアノ生演奏付きプログラム以外は、録音音源を使用いたします。

2017 8.19 (土) 14:00 開演 フェスティバルホール

S席¥14,000 A席¥11,000 B席¥8,000 C席¥**完売** BOX席¥**完売** D バルコニーBOX(2席セット) ¥28,000 [全席指定・税込]
※バルコニーBOX(2席セット)はフェスティバルホール チケットセンター(電話・窓口)のみの取り扱い。

ご予約・お問合せ

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00)
フェスティバルホール オンラインチケット <http://www.festivalhall.jp> (要事前登録)

チケット取り扱い

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> 0570-02-9999 (24時間受付) Pコード: 457-297
ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-000-407 (オペレーター)
0570-084-005 (24時間受付) Lコード: 51918
CNプレイガイド <http://cncn.jp/> 0570-08-9990
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

チケット
好評
発売中

※一旦お求めいただいたチケットは、公演中止の場合を除き、キャンセル・公演日の振替等はお受けすることができません。予めご了承の上、お求めください。
※5歳以上入場可。ただしお一人様につき一枚チケットが必要です。